FIRST ASIAN SEMINAR ON HEALTH AND MEDICAL SOCIOLOGY

第1回保健・医療社会学 アジア地域セミナー ご案内

1980年8月25日(月)~8月28日(木) 横浜国際会議場

主催:保健•医療社会学研究会

ごあいさつ

「第1回保健・医療社会学アジア地域セミナー」のご案内を申し 上げます。

主催団体である保健・医療社会学研究会は、保健・医療に関する 社会科学に関心をもつ社会学・公衆衛生学の研究者、保健・医療行政の関係者、保健婦、医療ソーシャルワーカーなど保健・医療サービスの実務 にたずさわる人々により1974年に結成され、保健・医療問題の 社会的要因、保健・医療の実践活動における社会科学的方法や分析などについて研究を重ねてきました。

この度、本会は、国際社会学会・医療社会学部会委員長マーク・G・フィールド博士(ボストン大学教授)などの度重なる要請もあり、アジア諸国の代表を招き、それぞれの国における保健・医療に関する問題や計画等について討議し、特に現在世界的問題となっているプライマリー・ヘルス・ケアーを中心に情報や意見を交換するセミナーを計画しました。プライマリー・ヘルス・ケアーに関する内外の代表的研究者やアジア諸国の代表による報告を中心に参加者全員による討論を予定していますのでご参加をお待ち申し上げております。

なお、本セミナーの開催にあたっては、各方面からの多大なご支 援をいただき感謝申し上げております。

1980年3月 第1回保健・医療社会学アジア地域セミナー組織委員会 委員長 山 本 幹 夫

委員会

<組織委員会>

委員長 山本幹夫 帝京大学教授 副委員長 篠 原 武 夫 東京医科歯科大学教授 委 員 大 道 安次郎 関西学院大学名誉教授 江 尻 進 日本新聞協会専務理事 榹 本 正 己 国立公衆衛生院衛生行政学部長 原 元 藤 典 京都大学名誉教授 春日 斉 東海大学教授 清 川 謹 三 神奈川県医師会長 古屋野 正 伍 兵庫教育大学教授 前田 実 神奈川県衛生部長 那 須 宗 一 中央大学教授 佐分利 輝 彦 厚生省病院管理研究所長 宍 戸 룝 夫 横浜市立大学教授 豊 須」川 神奈川県立栄養短期大学長・日本公衆衛生学会理事長 杉 政 孝 立教大学教授 田中恒男 東京大学教授 富 田 富士雄 関東学院大学名誉教授 植 松 稔 北里大学教授

上智大学教授・日本社会学会渉外理事

聖マリアンナ医科大学教授

山 手 茂 茨城大学教授

譲治

綿

貫

山 村 行 夫

吉 田 寿三郎 大阪医科大学教授

吉 村 令 司 横浜市衛生局長

湯 沢 信 治 神奈川県副知事

<プログラム委員会>

委員長 篠原武夫 東京医科歯科大学教授

委 員 姉 崎 正 平 厚生省病院管理研究所主任研究官

橋 本 正 己 国立公衆衛生院衛生行政学部長

開 原 成 充 東京大学助教授

川 口 雄 次 厚生省国際課技官

前 田 信 雄 国立公衆衛生院社会保障室長

丸 地 信 弘 東京大学助教授

沖 野 哲 郎 帝京大学助教授

佐久間 淳 帝京大学助教授

杉 政孝 立教大学教授

園 田 恭 一 東京大学助教授

山 手 茂 茨城大学教授

山 本 幹 夫 帝京大学教授

米 林 喜 男 順天堂大学助教授

(ABC順)

<運営委員会(保健・医療社会学研究会運営委員)>

委員長 山本幹夫 帝京大学教授

where you be experted to the standing to the stands

副委員長 篠 原 武 夫 東京医科歯科大学教授

企画 山 手 茂 茨城大学教授

担当委員 姉崎正平 厚生省病院管理研究所主任研究官

涉外 佐久間 淳 帝京大学助教授 担当委員

会 期

1 9 8 0 年 8 月 2 5 日 月 ~ 8 月 2 8 日 休

場所

横浜国際会議場 〒231 横浜市中区山下町2番地

産業貿易センター内 9・10階

電 話

主 催

保健·医療社会学研究会

後援

日本学術会議

文部省

厚生省

外務省

神奈川県

横浜市

神奈川県医師会

日本社会学会

WHO西太平洋地域事務局

(WHO Regional Office for the Western Pacific)

国際社会学会・医療社会学研究部会

(Research Committee on Medical Sociology, International Sociological Association)

社会科学と医学に関する国際会議

(International Conference on Social Science & Medicine)

協力

トョタ財団, 帝京大学, その他

会議テーマ

地域社会における保健・医療問題とその解決
ープライマリー・ヘルス・ケアーの社会的戦略--

- ①わが国は、過去30有余年の間に、社会経済の発展にともない保健・医療水準を向上させ、世界の長寿国の仲間入りをするに至った。これにともなって各国の保健関係者の間でも、わが国の経験に対する関心がたかまっている。これについて国際的な比較検討を行う。
- ②保健・医療活動においては、従来、ややもすると、社会科学的な視点 に欠ける面があったが、このセミナーにおいては学際的・総合的視野 にたって、アジア諸地域における保健・医療問題の実情とその解決の 方途を考える。
- ③とくに最近世界的関心事となっているプライマリー・ヘルス・ケアー の考えにたった問題解決の戦略については、各国の実情に即して考究 し、アジアにおける人々の健康をまもりたかめる活動に資することを 目的とする。
- ④1978年ソ連アルマ・アタにおけるWHOとUNICEFの合同会議で採択された「アルマ・アタ宣言」を参考にしながら、具体的には、プライマリ・ヘルス・ケアーの計画、その実践のための健康教育と住民参加、および、保健・医療従事者の教育訓練などを検討する。

参加予定国

①アジア地域諸国 中国,香港,インド,インドネシア,韓国,マレーシア,フィリピン,シンガポール,タイ,日本

②その他欧米諸国など カナダ, デンマーク, ニュージーランド, イギリス, アメリカ, 西ドイツなど

参加予定人数

海外 約20名 国内 約80名

会議用語

会議中は英語・日本語の同時通訳が行なわれます。 ただし、分科会討議を除きます。

日 程

	· ·	
8月25日(月)	9:00-10:00	登録
	10:00-11:00	開会式・オリエンテーション
	11:15-12:00	基調講演
·	12:00-14:00	昼食
	14:00-17:00	開会シンポジウム
		世界とアシアの保健・医療問題
	18:00-20:00	拡大運営委員会
,		
8月26日(火)	9:30-12:30	各国の報告と討論
		アジア各国代表の報告と討論
	12:30-14:00	昼食
	1 4:00-17:00	各国の報告と討論
		アジア各国代表の報告と討論
	18:00-20:00	拡大運営委員会
8月27日(水)	9:30-12:30	分科会討議 問題解決のための社会的戦略を 中心として Aクループ プライマリー・ヘルス・ ケアーの計画
		Bグループ プライマリー・ヘルス・ ケアー 実践のための健 康教育と住民参加
		Cグループ 保健・医療従事者の教 育訓練
	12:30-14:00	昼食
	14:00-17:00	全体会議とまとめ
	17:00-19:00	レセプション
8月28日(木)	8:30-18:30	神奈川県保健・医療事情視察
		神奈川県保健教育センター
		小田原保健所
		箱根観光
i		

参加登録申込み

会議に参加を希望される方は、最終の参加登録申込み用紙に必要事項をすべて記入の上、セミナー事務局宛ご送付下さい。なお、参加登録費は下記の銀行口座にお振り込み下さい。参加登録費の振込入金をもって、参加登録申込とさせていただきます。

<参加登録費>

1980年5月31日以前の振込	1980年6月1日以降の振込	
1 0,0 0 0 円	1 3,0 0 0 円	

(ただし、昼食、レセプション、視察ツアー及び会議報告書の費用は 上記参加登録費には含まれておりません。)

<振込銀行>

住友銀行 日比谷支店

口座番号: 215-527479

口 座 名: 保健・医療社会学研究会

第1回保健・医療社会学アジア地域セミナー

組織委員会委員長 山 本 幹 夫

(一度振込まれた参加登録費については、お返しいたしませんのであらかじめど了承下さい。)

<参加締切>

会場の都合により、申込み人員が100名になり次第締切らせていた だきます。

<参加登録申込用紙送付先>

〒173 東京都板橋区加賀2-11-1

帝京大学医学部公衆衛生学教室内

第1回保健・医療社会学アジア地域セミナー事務局

電 話

分科会

日 時; 8月27日(水)

9:30-12:30

場 所 ; 横浜国際会議場

グループ ; A, プライマリー・ヘルス・ケアーの計画

B, プライマリー・ヘルス・ケア- 実践のための健康

教育と住民参加

C, 保健·医療従事者の教育訓練

費 用 ; 無料

レセプション

日 時 ; 8月27日(水)

17:00-19:00

場 所 ; 横浜国際会議場

ラウンジ (9階)

費 用 ; ¥ 3.0 0 0

神奈川県保健・医療事情視察ツアー

日 時; 8月28日(木)

8:30 -- 18:30

場 所 ; 神奈川県保健教育センター

横浜市磯子区東町6-13

Tel:

小田原保健所

神奈川県小田原市南町2-4-45

Tel:

箱根観光

費 用 ; ¥7,000 (昼食代を含む)

参加登録申込用紙に予定を必ずご記入の上、レセプション費および視察 ツアー費は、参加登録費とともにお振り込み下さい。

<事務局>

事務局長 姉 崎 正 平 厚生省病院管理研究所主任研究官

財務担当 米 林 喜 男 順天堂大学助教授

事務局員 沖 野 哲 郎 帝京大学助教授

岡 田 弘 神奈川県衛生部主査

桜 井 忠 道 神奈川県衛生部主査

江 頭

加奈子セシリア 帝京大学講師

塩 原 秀 子 帝京大学助手

<セミナー事務局所在地>

第1回保健・医療社会学アジア地域セミナー事務局 帝京大学医学部公衆衛生学教室内

〒173 東京都板橋区加賀2-11-1

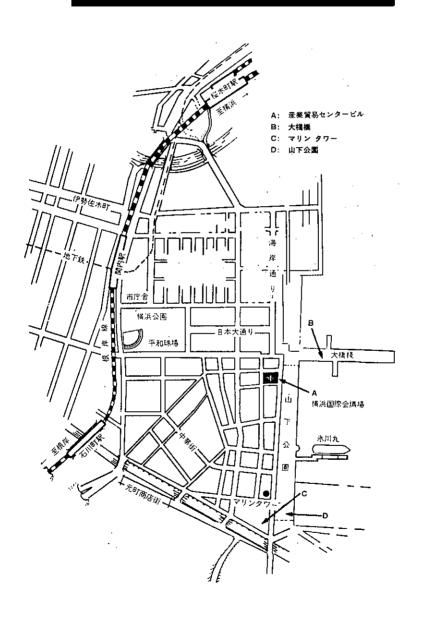
Tel:

会場案内

横浜国際会議場

〒231 横浜市中区山下町2番地(産業貿易センター内)9・10階

TEL



THE

FIRST ASIAN SEMINAR

ON

HEALTH AND MEDICAL SOCIOLOGY

ANNOUNCEMENT

August 25 - August 28, 1980 (Mon.-Thu.)

Yokohama International Conference Center

GREETINGS

We take pleasure in delivering the announcement on "The First Asian Seminar on Health and Medical Sociology".

The host is the Japanese Society of Health and Medical Sociology which is composed of sociologists, public health scholars, health service administrations, public health nurses, medical social workers, and other relevant people. It was organized in 1974. This society has conducted academic activities concerning social factors on health problems, social scientific methodology for health services practice, and other related topics.

Due to initial and repeated requests by Dr. Mark G. Field, who is a professor of Sociology at Boston University, and the Chairperson of the Research Committee on Medical Sociology of the International Sociological Association, we have planned to organize this international seminar. Representatives from Asian countries, and experts from other parts of the world (including international organizations and Japanese participants), will discuss health problems, health planning, and other related topics of Asian developing countries. It will be focused on "primary health care".

We are eagerly awaiting your participation in this seminar, and are looking forward to receiving the completed registration form.

Mikio Yamamoto, M. D., D.M.

Chairperson,

Organizing Committee

The First Asian Seminar on Health and Medical Sociology

Organizing Committee:

Chairperson: Mikio Yamamoto, M.D.

Professor of Public Health, Teikyo University

Vice-Chairperson: Takeo Shinohara, Professor of Sociology,

Tokyo Medical and Dental University

Members:

Yasujiro Daido: Professor Emeritus of Sociology, Kanseigakuin

University

Susumu Ejiri: Managing Director, Japan Newspaper Publishers

and Editors Association

Motonori Fujiwara: M.D., Professor Emeritus of Hygienics

of University of Kyoto

Masami Hashimoto: M.D., Professor of Public Health, National

Institute of Public Health

Hitoshi Kasuga: M.D., Professor of Public Health, Tokai

University

Kinzo Kiyokawa: M.D., President of Kanagawa Medical Association

Shogo Koyano: Professor of Sociology, Hyogo Educational

University

Minoru Maeda: M.D., Director of the Health Department,

Kanagawa Prefectural Government

Sohichi Nasu: Professor of Sociology, Chuo University

Teruhiko Saburi: M.D., Director of the National Institute

of Hospital Administration

Masao Shishido: M.D., Professor of Public Health,

Yokohama City University

Yutaka Sugawa: M.D., Chairman of the Board of Trustees,

the Japanese Society of Public Health

President of Kanagawa Prefecture Nutritional

College

Masataka Sugi: Professor of Sociology, Rikkyo (St. Paul's)

University

Tsuneo Tanaka: M.D., Professor of Health Administration,

University of Tokyo

Fujio Tomita: Professor Emeritus of Sociology,

Kantogakuin University

Minoru Uematsu: M.D., Professor of Public Health,

Kitazato University

Jyoji Watanuki: Professor of Sociology,

Jochi (Sophia) University

Yukio Yamamura: M.D., Professor of Public Health,

St. Marianna Medical College

Shigeru Yamate: Professor of Sociology,

University of Ibaragi

Sumio Yoshida: M.D., Professor of Public Health,

Osaka Medical college

Reiji Yoshimura: M.D., Director of the Public Health Bureau

Government of Yokohama City

Shinji Yuzawa: M.D., Vice-Governor,

Kanagawa Prefectural Government

Program Committee:

Chairperson:

Takeo Shinohara: Professor of Sociology, Tokyo Medical

and Dental University

Members:

Masahira Anesaki: Senior Researcher, National Institute

of Hospital Administration

Masami Hashimoto: M.D., Professor of Public Health,

National Institute of Public Health

Narimitsu Kaihara: M.D., Associate Professor of Medical

Information Science, University of Tokyo

Yuji Kawaguchi: M.D., Medical Officer,

Ministry of Health and Welfare

Nobuo Maeda: Head of the Social Security Research

Section, National Institute of Public

Health

Nobuhiro Maruchi: M.D., Associate Professor of Health

Administration, University of Tokyo

Tetsuro Okino: M.D., Associate Professor of Public

Health, Teikyo University

Kiyoshi Sakuma: Associate Professor of Sociology

Teikyo University

Masataka Sugi: Professor of Sociology,

Rikkyo (St. Paul's) University

Kyoichi Sonoda: Associate Professor of Sociology,

University of Tokyo

Mikio Yamamoto: M.D., Professor of Public Health,

Teikyo University

Shigeru Yamate: Professor of Sociology,

University of Ibaragi

Yoshio Yonebayashi: Associate Professor of Sociology

Juntendo University

Steering Committee:

Chairperson:

Mikio Yamamoto:

M.D., Professor of Public Health,

Teikyo University

Vice-Chairperson:

Takeo Shinohara:

Professor of Sociology

Tokyo Medical and Dental University

Members:

Shigeru Yamate:

Professor of Sociology.

University of Ibaragi

Masahira Anesaki:

Senior Researcher,

National Institute of Hospital Administration

Yoshio Yonebayashi: Associate Professor of Sociology,

Juntendo University

Kiyoshi Sakuma:

Associate Professor of Sociology,

Teikyo University

Kyoichi Sonoda:

Associate Professor of Sociology,

University of Tokyo

Secretariat:

Secretary-General:

Masahira Anesaki:

Senior Researcher

National Institute of Hospital Administration

Treasurer:

Yoshio Yonebayashi: Associate Professor of Sociology,

Juntendo University

Members:

Tetsuro Okino:

M.D., Associate Professor,

Teikyo University

Hiroshi Okada:

Official, Kanagawa Prefectural Government

Tadamichi Sakurai:

Official, Kanagawa Prefectural Government

Cecilia Kanako

Egashira:

Lecturer, Teikyo University

Hideko Shiobara:

Assistant, Teikyo University

Period:

August 25, Monday - 28, Thursday 1980

Place:

Yokohama International Conference Center

Sangyo Boeki Center

2 Yamashita-cho, Naka-ku, Yokohama

Kanagawa Prefecture 231, Japan

Tel.

Host: The Japanese Society of Health and Medical Sociology Supporting Organizations:

The Science Council of Japan

Ministry of Education, Science & Culture, Japan

Ministry of Health and Welfare, Japan

Ministry of Foreign Affairs, Japan

Kanagawa Prefectural Government

Government of Yokohama City

Kanagawa Prefecture Medical Association

The Japan Sociological Society

WHO Regional Office for the Western Pacific

Research Committee on Medical Sociology

of the International Sociological Association

International Conference on Social Science & Medicine

Main Sponsors:

The Toyota Foundation Teikyo University Discussion Theme:

Community Health Care: Its Problems and Solutions
- The Strategy of Primary Health Care -

Under the above theme, information on the present conditions of people's health, health services, and health planning in Asian countries will be exchanged, and some solution methods on health and health-related problems will be discussed. For the theme, "Declaration of Alma Ata" adopted at the joint conference between WHO and UNICEF held at Alma Ata, USSR, in 1978, will be used as reference. In concrete terms, discussion shall be centered on primary health care plans, health education, community participation and the education and training of health services personnel.

Participating Countries:

Asia: Hong Kong, India, Indonesia, Malaysia,
People's Republic of China, Philippines, Republic of
Korea, Singapore, Thailand and Japan

Other countries:

Canada, Denmark, New Zealand, United Kingdom, United States, West Germany, etc.

Expecting Participants:

Overseas: 20 Japan: 80

Language:

Throughout the seminar sessions, with the exception of group discussions, a simultaneous interpretation service will be provided in English and in Japanese.

Schedule:

Aug. 25 (Mon.)	9:00 - 10:00	Registration	
-	10:00 - 11:00	Opening Ceremony, Orientation	
	11:15 - 12:00	Keynote Address Lunch	
	12:00 - 14:00		
	14:00 - 17:00	Opening Symoposium	
		Health and Medical Care Problems	
		throughout the World and in Asia	
	18:00 - 20:00	Steering Committee Meeting	
Aug. 26 (Tue.)	9:30 - 12:30	Reports from National Representatives	
		of Asian Countries with Discussion	
	12:30 - 14:00	Lunch	
	14:00 - 17:00	Reports from National Representatives	
		of Asian Countries with Discussion	
	18:00 - 20:00	Steering Committee Meeting	
		•	
Aug. 27 (Wed.)	9:30 - 12:30	1 -	
		Social Strategy for a Solution	
		Group A: Primary Health Care Planning	
		Group B: Health Education for	
		the Public and Community	
		Participation in relation	
		to Primary Health Care	
		Group C: Education and Training	
·		of Health and Medical	
		Care Personnel	
	12:30 - 14:00	Lunch	
	14:00 - 17:00	Plenary Session	
	17:00 - 19:00	Reception	
Aug. 28 (Thu.)	8:30 - 18:30	Observation Visits to Health Care Facilities and Field Activity Sites in	
		Kanagawa Prefecture	

Application for Registration:

If you are able to participate in the seminar, please fill out in the attached <u>Registration Form</u>, and mail it to the Seminar Secretariat. Regarding the Registration Fee, please pay upon registration at the desk at the Yokohama International Conference Center.

Registration Fee: 10,000 Yen

Seminar Secretariat:

Teikyo University
School of Medicine
Dept. of Public Health
11-1, Kaga 2-chome, Itabashi-ku
Tokyo 173, Japan
Tel.

Group discussion:

Date: August 27, Wednesday

Place: Yokohama International Conference Center

Group A: Primary Health Care Planning

B: Health Education for the Public and Community
Participation in relation to Primary Health Care

C: Education and Training of Health and Medical
Care Personnel

Reception:

Date: August 27, Wednesday

Place: Yokohama International Conference Center

Observation visits:

Date: August 28, Thursday

Place: 1. Kanagawa Prefectural Health and Education Center*

- 2. Odawara Health Center*
- 3. Hakone Sightseeing

Note: (*) Reports and Discussions will be held at above-mentioned Centers .

Correspondence to:

Prof. Mikio Yamamoto, M.D., D.M.Sc.

c/o Seminar Secretariat

Teikyo University
School of Medicine
Dept. of Public Health
11-1, Kaga 2-chome, Itabashi-ku
Tokyo 173, Japan
Tel.

HOTEL ACCOMODATION

The Organizing committee and Hankyu Express International Co., Ltd. (Hankyu) have reserved sufficient rooms at the Yokohama New Grand Hotel. Hankyu will be responsible for the allotment of rooms under the direction of the Organizing Committee. All participants wishing to make hotel reservations should address their request to Hankyu indicating the category desired, the number of rooms needed and the duration of stay, in order to secure a firm reservation. Room applications should be accompanied by a remittance of Yen 10,000 as a deposit. No reservations will be confirmed in absence of a deposit.

If space of the desired category is unavailable, Hankyu will reserve accommodation of a category which is as close as possible to the applicant's choice. Room charges are;

Hotel	Category	Twin (Yen)	Single (Yen)
Yokohama New	A	Yen 12,000	Yen 9,000
Grand Hotel	В	Yen 7,800	Yen 6,600/5,200

Note: 1) Rooms of Category A have bath and those of B have only shower.

- 2) Room charges do not include meals. A 10% tax and a 10% gratuity will be added to the bill when checking out.
- 3) Single rooms of Yen 6,600 in Category B are double bedded ones.

Cancellations:

How to apply:

Participants should complete Form II, indicating the desired category, number of rooms and period of stay. Send the form to Hankyu together with a room deposit fee, of Yen 10,000 per room. Upon receipt of the deposit fee Hankyu will send the applicant a booking confirmation notice. Reservatrions will be confirmed on a first-come first-served basis. Participants must remit the deposit to Hankyu. Otherwise we can not guarantee hotel accommodations.

Hotel Accommodation form should be mailed to:

Hankyu Express International Co., Ltd.

Incoming Tourist Service Division

3-9, shimbashi 3-chome, Minato-ku Tokyo, 105 Japan

Cable: HANKYUEXCO TOKYO Telex: 222-2565 HANEX J

Telephone:

Deadline: July 25, 1980 (Receipt by HANKYU)

Payment

Deposit shall be paid in Japanese Yen. Please use the following method when submitting your application form:

Bank transfer in Yen to be sent to Hankyu Express International Co., Ltd. account at the Sanwa Bank Ltd., Shimbashi Branch, 11-7, Shimbashi 1-chome, Minato-ku, Tokyo (Account No. 9697)

(Please include a copy of the bank remittance when sending your application form)

Passports and Visas

All foreign visitous desiring to enter Japan must have a valid passport. Visas are NOT required for tourists who are citizens of the following countries:

ARGENTINA, AUSTRIA, BANGLADESH, BELGIUM, CANADA, CHILE, COLOMBIA, COSTA RICA, CYPRUS, DENMARK, DOMINICAN REPUBLIC, EL SALVADOR, FINLAND, FRANCE F.R.G., GREECE, GUATEMALA, HONDURAS, ICELAND, IRAN, IRELAND, ISRAEL, ITALY, LESOTHO, LIECHTENSTEIN, LUXEMBOURG, MALTA, MEXICO, NETHERLANDS, NEW ZEALAND, NORWAY, PAKISTAN, PERU, PORTUGAL, SAN MARINO, SHINGAPORE, SPAIN, SURINAM, SWEDEN, SWITZERLAND, TUNISIA, TURKEY, URUGUAY, UNITED KINGDOM AND YUGOSLAVIA

Vaccination

No special vaccinations are necessary unless a visitor enters Japan within 14 days of having been in a smallpox-infected area, in which case he must possess a valid international certificate of vaccination against smallpox. A cholera certificate is also required for persons coming from an infected area. For further details, participants are advised to contact their local travel agents or carriers.